

韓国語の「의 (ui)」名詞句と日本語の「の」 名詞句の対応様相についてのコーパス分析

The Corpus Analysis on the Correspondence Patterns between Korean ‘ui’ Noun-phrase and Japanese ‘no’ Noun-phrase

朴 鍾厚^{*1}

Jonghoo Park

Email: parkjonghoo@naver.com

This study aims to examine empirically the correspondence patterns between the Korean ‘ui’ noun phrases and the Japanese ‘no’ noun phrases through the analysis of the corpus. I analyzed their correspondences in both directions, not one way, by forming the Korean-Japanese parallel corpus and the Japanese-Korean parallel corpus. The analysis of the Korean-Japanese parallel corpus showed that approximately 91 percent of the Korean ‘ui’ noun phrases were one-on-one correspondence with the Japanese ‘no’ noun phrases. Meanwhile, the analysis by the Japanese-Korean parallel corpus showed that only about 27 percent of the Japanese ‘no’ noun phrases responded one-on-one to the Korean ‘ui’ noun phrases. Most of the Japanese ‘no’ noun phrases which do not respond to the Korean ‘ui’ noun phrases, were omitted or replaced with other constituents.

^{*1}：獨協大学国際教養学部特任准教授

1. はじめに

本稿は、韓国語の「의」名詞句と日本語の「の」名詞句の対応様相を実証的に考察することを目的とする。そのため、個人研究用の韓日並列コーパス(parallel corpus)¹と日韓並列コーパスを作成し、そこから取り出した用例を分析対象とする。これは、コーパスを用いた帰納的な日韓対照研究の一例であるものの、同時に両言語の母語話者達が相手の言葉を学習する際に立つ基礎資料にもなるだろう。

韓国語の助詞「의」と日本語の助詞「の」は、基本的に前後に位置する構成素を繋ぎ、一つの名詞句(noun phrase)を作る文法機能を持つという点で一致する。本稿では、これらの名詞句を各々「의」名詞句と「の」名詞句と呼ぶことにする。

- (1) a. 이미 그건 남의 이야기가 아니게 됐다.
b. もうそれは他人の話ではなくなった。

上記の(1a)と(1b)は、同義の韓国語と日本語の文である。(1a)は韓国語の例で、先行要素の「남」と後行要素の「이야기」が助詞「의」で繋がり、「남의 이야기」という名詞句が作られている。(1b)は日本語の例で、先行要素の「他人」と後行要素の「話」が助詞「の」で繋がり、「他人の話」という名詞句が作られている。この例を見ると、韓国語の「의」名詞句と日本語の「の」名詞句は、一見一対一で対応するように見える。しかし、実際はそう簡単ではなく、多様な形で対応していることが分かる。

本研究では、韓日及び日韓並列コーパスを基盤とした分析を行う。「韓国語→日本語」及び「日本語→韓国語」の両方向のコーパスから「의」名詞句と「の」名詞句の対応ペアの実例を抽出し、その分布様相を帰納的に分析・分類する。これは、方向性によって対応の様相が変わって来ることが予想されるためである。そして、この結果を踏まえた「의」と「の」の対応様相について記述する。

本研究の資料として使われるコーパスは、原文が韓国語である「韓日並列コーパス」と、日本語が原文である「日韓並列コーパス」を別途に作成し、使用した。前者からは「韓国語→日本語」の方向の韓国語の「의」名詞句と、これに対応する日本語の「の」名詞句の用例を、後者からは「日本語→韓国語」の方向から日本語の「の」名詞句と、これに対応する韓国語の「의」名詞句の用例を取り出し、その対応関係を分析した。

両コーパスの構築に使われたテキストとしては、韓国の国立国語院によって作成・公開されている

「21世紀世宗計画」の中の韓日並列コーパスのテキストを基とし、現在翻訳されている本やインターネットに載っている韓国紙の日本語翻訳記事などを用いた。勿論これは、均等性や多様性や典型性の取れた研究用として最も望ましいコーパス(민경모, 2008: 80-81)ではない。しかし、「의」名詞句と「の」名詞句の対応様相を分析するための用例の抽出に、そこまでバランスの取れたコーパスが要るわけではないと考えられる。

コーパスの規模は、韓日並列コーパスが11,593語節²で、日韓並列コーパスは5,150語節である。実際コーパスに使われたテキストの詳しい目録は、最後に付録として掲示しておく。

表1 本研究のコーパス

	原文	対訳文	規模	用例数
韓日並列コーパス	韓国語	日本語	11,593語節	311
日韓並列コーパス	日本語	韓国語	5,150語節	508

このコーパスの中から相互対応する韓国語の「의」名詞句と日本語の「の」名詞句の用例を取り出し、EXCELファイルに入力する。その後、手作業で対応様相の分類を行った。

2. 先行研究

「의」名詞句と「の」名詞句の対応関係に関する従来の研究は、あまり見られない。殆ど助詞「의」と「の」の対応様相に関する研究である。これは、名詞句の中の前後の構成素の間の意味関係を助詞「의」や「の」の意味と同一視したためである³。これを念頭に置き、ここでは韓国語の「의」と日本語の「の」についての先行研究を考察してみる。

韓国語や日本語の文法論において助詞という品詞は、その文法機能の重要性と使用頻度、類型論上の特異性等から、数多くの研究がなされて来た。特に、両言語間では助詞に一定の対応関係があると知られており、これまでも韓日対照言語学において両言語の助詞の間の対応様相は研究者たちから注目されてきた(박복덕, 1988: 127)。

特に、韓国語の「의」と日本語の「の」は、いずれも基本的に前後に来る構成素を繋ぎ、一つの名詞句にするという点で類似した文法的機能を持ってい

¹ 対訳コーパス(bilingual corpus)とも言う。

² 語節とは韓国語の分かち書きの単位であり、日本語学という文節にあたる。韓国語学においては、コーパスの規模を表す際の単位としてこの語節を使うことが一般的である。

³ しかし、本研究ではその対応様相の意味関係からではなく、形態・統語的な手法という面から考察する。

るとされ、その NP1 と NP2 の間の意味関係に注目した意味論的な面からの対応様相が研究されて来た。代表的な研究としては、신은범 (1982)、서경숙 (1987)、박복덕 (1987) などが挙げられる。

신은범 (1982) では、日本語の連体格助詞としての「の」だけでなく、助詞「의」の持つ機能全般における韓国語の「의」との対応様相を分析し、日本語の助詞「의」の多様な機能の中に韓国語の助詞「의」と対応するのは、連体格助詞しかないという結論を導き出している。

서경숙 (1987) では、まず韓国語の「의」と日本語の「の」の機能を全般的に観察した後、その中の連体修飾における NP1 と NP2 の間の意味関係を 40 個に分類し、その分布環境が韓国語の助詞「의」と、どのように対応しているのかを分析した。その結論として、日本語の「의」と韓国語の「의」の対応関係は、「一対一の対応」、「省略」、「合成語としての対応」、「他の語句によって入れ替えられる対応」に分類されることを明らかにした。

박복덕 (1988) では、韓国語の「의」と日本語の「의」は助詞の役割として厳密には相互一致せず、NP1 と NP2 の間の意味関係によって多様な述語関係が見られるため、助詞だけの考察よりはその範囲を拡大した「NP1 + 의 + NP2」、「N1 + N2」、「N1 + ㅏ + NP2」、「複合語」の間の対応関係を議論すべきではないかと主張した。

これらの研究は、日本語「의」から韓国語「의」への対応関係に関する一方向の研究であり、その反対方向の韓国語から日本語への対応関係も含んだ総合的な考察はあまりなされていない。さらに、これらの研究に用いられている用例は、概ね母語話者の内省による作例の場合が多いため、より客観的な実例の資料が活用される必要があると考えられる。そのため、本研究では韓日並列コーパスと日韓並列コーパスという両方向からの実例を用いた実証的な分析を試みるのである。

3. 韓国語の助詞「의」と日本語の助詞「의」の対応様相

韓国語の助詞「의」と日本語の助詞「의」は、基本的に前後に位置する構成素を繋ぎ、一つの名詞句 (noun phrase) を作る文法機能を持っている。このような文法機能の面からの類似性にもかかわらず、コーパスから実例の分析を考察してみると、そのコーパスが「韓国語→日本語」の方向のものか「日本語→韓国語」の方向のものかによって、その対応様相が異なって来る。以下、3.1 節と 3.2 節では韓日及び日韓並列コーパスという両方向からの対応様相を分析・記述する。

3.1 韓日並列コーパスにおける「의」に対応する「의」の様相

本節では、原文が韓国語である韓日並列コーパスのからの韓国語の「의」名詞句 (「NP1 + 의 + NP2」構成) に対応する日本語の「의」名詞句 (「NP1 + 의 + NP2」構成) を分析し、両言語の間の「의」と「의」の対応様相を記述する。

これまでの「의」と「의」の対照研究においては、第 2 章でも触れたように、ほとんど「日本語→韓国語」の方向からの対応関係のみに注目しており、韓国語の「의」が日本語の「의」へどう対応するのかはあまり研究されていない。박복덕 (1988: 128) によれば、これは韓国語の助詞「의」は全て日本語の「의」に一对一で対応され、直訳で入れ替えることができると思われるためであろう。本節では、これが本当かどうか、韓日並列コーパスから取り出した 311 個の用例の分析を通じ、実証的な検討を試みる。

表 2 韓日並列コーパスにおける「의」と「의」の対応様相

全体の 用例数	一対一の対応の用例		そうでない用例	
	用例数	比率	用例数	比率
311 (100%)	284	91.3%	27	8.7

コーパスから取り出した 311 個の用例の中、韓国語の「NP1 + 의 + NP2」構成と日本語の「NP1 + 의 + NP2」構成が一対一で対応するものは 284 個 (91.3%) で、そうでないものは 27 個 (8.7%) であった。박복덕 (1988: 128) で述べられた通りの完璧な一致ではないが、約 91.3% といった非常に高い一致率を見せている。これは従来の研究成果を裏付ける結果とも言えるだろう。このような「의」と「의」の対応様相を見ると、言語の理解という面からは、日本語母語話者は韓国語のテキストの中の「NP1 + 의 + NP2」構成について無難に読解することができるだろうと予想される。

ちなみに、一対一の対応を見せない場合の代替表現は、韓日並列コーパスからの 23 個の用例を分析してみると、以下のような 6 つのタイプと分類することができた。

(2) 「의」以外の表現と対応する「의」の類型及び例

①用言の連体形：11 例

- 시위대 의 방화로: 暴動による放火で

【동아_090707_ 国際】

- 이들 의 평택공장 점거 파업으로: 彼らによる平澤工場における占拠ストにより

【동아_090704_ 社会】

- ・노조의 평택공장 점거 파업으로: 労組による平沢工場における占拠ストによって
【동아_090704_社会】
- ・노조의 공장 점거가: 労組による工場占拠が
【동아_090704_社会】
- ・전교조 교사들의 시국선언에 대해: 全教組教師らによる政治声明の宣言と関連して
【동아_090704_社会】
- ・교육공무원들의 작은 부조리행위에도: 教育公務員らによる些細な不正行為であっても
【동아_090706_教育】
- ・세계 10 위권 의 경제대국: 世界 10 位内に入る経済大国
【동아_090707_경제】
- ・의회정치 의 기본을: 議會政治という基本を
【동아_091218_政治】
- ・세계 10 위권 경제 의 국제적 위상에: 經濟規模で世界 10 位圏という國際的な地位に
【동아_090707_경제】
- ・세 아들의 엄마인 셸리 로스 씨: 息子 3 人を抱えている母親のシェリーローズ氏
【동아_091219_社会】
- ・삼성의 투자를 이끌어: 三星による投資を導き
【동아_091219_경제】

② NP1 + NP2 の複合語化: 7 個

- ・자신의 신상: 自己情報 【세종_ja0110kk/jk】
- ・투자 의 귀재 워렌 버핏: 投資王ウォーレン・バフェット
【동아_090706_教育】
- ・6 일 신세계와 의 경기에서: 6 日の新世界戦で
【동아_090708_스포츠】
- ・방산업체들도 해커들의 공격을 받았다: 防衛産業者もハッカー攻撃を受けた
【동아_090709_政治】
- ・이제 남 의 얘기가 아니다: いまや人事ではない
【동아_090710_스포츠】
- ・유럽 최강 의 리그였다: 欧州最強リーグだった
【동아_090710_스포츠】
- ・한국 의 IOC 위원은: 韓国人 IOC 委員は
【동아_091219_경제】

③ 「の + NP2」或は「NP1 + の」の省略: 4 個

- ・IAEA 의 데이비드 키드 대변인은 4 일 중앙일보와의 e-메일 인터뷰에서: IAEA は 4 日、中央日報との電子メールインタビューで
【세종_ja0107kk/kj】
- ・지금도 국제기구를 찾는 일본인들의 발길이 끊이지 않고 있다: 今も國際機關に進む日本人が絶えない
【동아_090706_國際】
- ・유무상 지원 등의 형태로 베푸는 정부개발원조(ODA)는: 有償・無償の支援をする政府開

發援助 【동아_090706_국제】
 ・유족 대기실을 만드는 정도 의 공사조차: 遺族の控え室を作る工事すら 【동아_090709_社会】

④ 述語を用いた表現: 1 個

- ・브릭스 국가 의 거센 돌풍에 차례대로 밀려: 브릭스諸国に次々と激しく追いかけられ
【동아_090707_경제】

⑤ 他の助詞への対応: 1 個

- ・관중 의 기립박수를 받았지만: 觀客から起立拍手を受けたものの 【동아_090707_스포츠】

⑥ その他: 1 個

- ・궁중 의 연례행사였다: 毎年の宮中行事であった
【세종_ja0117kk/kj】

上記の表 3 のように、韓国語の「의」と日本語の「の」が一对一で対応しない場合は、①用言の連体形、② NP1 + NP2 の複合語化、③「の + NP2」或は「NP1 + の」の省略、④述語を用いた表現、⑤他の助詞への対応、⑥その他、といった 6 つのタイプの表現と対応していた。

この中で最も多く見られたのは、韓国語の「의」が日本語においては用言の連体形と対応して現れるタイプで、28 個の中の 11 個 (39.3%) であった。特に、「의」に対応して NP1 と NP2 を繋ぐ役割を果たす用言の連体形としては、「NP1 による NP2」が最も多く現れた。この場合の NP2 には、叙述性名詞が来るという特徴も見られる。

次に多くの用例が見られたのは、韓国語の「의」が含まれている「NP1 + 의 + NP2」構成が日本語においては一つの単語、つまり複合語として対応するタイプで、全部で 7 つの用例が現れた。一見、これは「の」の省略とも見なすことができるだろうが、議論を進めると一つの単語とは何であるかという根本的な問いにまで広がってしまうので、ここでは対象外とする。ただ、韓国語において「의」の省略は頻繁に行われるとされて来たが、日本語において「の」の省略は非常に制限的であるため、このように韓国語の「NP1 + 의 + NP2」構成が日本語においては一つの単語として対応する用例が 7 個も見られるのは、予想外のことでもあるということだけ特記しておこう。

その他、「의 + NP2」の省略された 4 個の用例は翻訳上の問題である可能性があり、残りの 3 種類の用例はいずれも 1 回しか現れていないため、これ以上詳しく解説はしない。

3.2 日韓並列コーパスにおける「の」に対応する「의」の様相

この節では、3.1 節とは逆方向から、つまり日韓並列コーパスにおいての日本語の「の」に対応する韓国語の「의」を分析し、両言語の間の対応関係を考察する。従来の研究では、日本語の「の」に対する韓国語の助詞「의」の対応関係について、主に意味論的な観点からの議論が行われて来た。そのため、NP1 と NP2 の意味関係による対応関係が多く語られて来たわけであるが、これらの対応様相の形態・統語論な手法の類型分類などはあまり議論されてこなかった。本研究の日韓並列コーパスにおける日本語の「の」名詞句と韓国語の「의」名詞句の対応ペアは、全部で 508 個である。これらの分析から「の」と「의」の対応様相を実証的に考察してみよう。

表 3 日韓並列コーパスにおける「の」と「의」の対応様相

全体の 用例数	一対一の対応の用例		そうでない用例	
	用例数	比率	用例数	比率
508 (100%)	137	26.9%	372	73.2%

全体の 508 個の用例の中で、日本語の「の」と韓国語の「의」が一対一の対応関係を成す用例は、137 個 (26.9%) に過ぎなかった。こうした結果を見ると、単に日本語の「の」と韓国語の「의」が酷似しているため、相手の言語にそのまま入れ替えればよいとは到底言えないだろう。これは、韓国語「의」の日本語「の」への対応率が約 91.3% という高い一致率を見せた 3.1 節の結果と比べると、非常に大きな差であることが分かる。この分析結果から見限り、言語の産出という面で日本語母語話者にとって韓国語の助詞「의」の用法はそう容易ではないだろう。次に、一対一で対応されない 372 個の例を考察してみよう。これらは、どのような対応表現として現れるのであろうか。

日本語の「の」が韓国語の「의」と一対一で対応しない用例の類型分類をしてみると、上記の表 3 のようになる。大分類として、「省略」と「対置」と分けることができる。前者は、省略される構成素によって、助詞「의」のみ省略されるタイプと「の + NP2」が省略されるタイプがある。また、助詞「의」のみ省略されるタイプの場合、対応する韓国語の構成素の種類によって、句構成になるタイプと複合語になるタイプと分けることができる。「の + NP2」が省略されるタイプの場合は、全て韓国語の複合語と対応した。後者の「対置」の場合は、「冠形詞への対置」、「他の助詞への対置」、「用言句への

表 4 「의」以外の助詞「의」に対応する表現の類型と用例

類型			用例
省略 (213)	助詞 「の」 の省略 (193)	句構 成化 (162)	先生の宅：선생님 덕, 予 言の中に：예언 속에, 地 方 <u>の</u> 時代に：지방 시대에, 地上 <u>波</u> <u>の</u> 放送は：공중파 방송은, 台所の口に：부 엿 입구에, ...
		複合 語化 (31)	白い <u>ばら</u> <u>の</u> 花：하얀 장미 꽃, 皮膚 <u>の</u> 色：피부 색, 月 <u>の</u> 末に：월말에, 南 <u>の</u> 方へ：남쪽으로, 井戸 <u>の</u> 水：우물물, ...
	「 <u>の</u> + NP2」의 省略 (20)		外 <u>の</u> 方を向いて：밖을 향 해, 先生 <u>の</u> どこにも：선 생님에게서도, ...
対置 (130)	冠形詞 (8)		すべて <u>の</u> 人間に：모든 인 간에, 何 <u>の</u> 感じも：아무 런 감정도, 異様 <u>の</u> 瞬間 に：그 순간, ...
	助詞 (46)	主格 助詞へ (39)	奥さん <u>の</u> 持って来る冷た い麦茶：부인 <u>이</u> 가져다 주는 시원한 보리차, 光 의無い目：빛 <u>이</u> 없는 눈, 先生 <u>の</u> 歩く方へ：선생님 <u>이</u> 가는 곳으로, ...
		目的格 助詞へ (4)	哲学どころ <u>の</u> さわぎでは ない：철학 따위 <u>를</u> 논할 상황이 아니어서, 苗 <u>の</u> 左 側から：논을 좌측으로, ...
		副詞格 助詞へ (3)	朝 <u>の</u> 寢床の中に：아침 <u>에</u> 잠자리 안에서, 異例 <u>の</u> 9.1%：이례적으로 9.1%, ...
	用言句 (76)	連体形 へ (60)	水量たっぷり <u>の</u> 小川：물 이 많은 실개천, ほうき <u>の</u> 手：빗자루를 든 손, 前 の雑木林：앞에 있는 잡 목림, 中国 <u>のある</u> 資産家： 중국에서 활동하는 어느 자본가, ...
		叙述形 へ (16개)	一種 <u>の</u> 失望：그만김이 새 고 말았다, 私 <u>の</u> 自信を傷 めた：나를 약간 위축시 켰다, ...
その他 (29)			押入れ <u>の</u> 真っ暗い中に： 어두운 불박이장 안에, 試合 <u>の中で</u> ：실전 경기를 통해서, ...

対置」と分類することができた。さらに、「他の助詞への対置」は、助詞の種類によって「主格助詞への対置」、「副詞格助詞への対置」、「目的格助詞への対置」と、また「用言句への対置」の場合は、「連体形への対置」、「叙述形への対置」と分けることができる。この二つのタイプに入れにくい用例の場合

は、全部「その他」にまとめておいたが、これらは大体翻訳者による意識の用例が多く、その対応様相が類型化されることは非常に難しい例である。

この中に最も多く見られるタイプは「省略」で、全部 193 個（全体の 51.9%）であった。つまり、約半分くらいの日本語の「の」は韓国語においては省略されていたわけであるが、これは韓国語では名詞自体が連体修飾性を持っており、助詞「의」が比較的に省略されやすいためであると考えられる（신은범 1982：42）。

ちなみに、これらの NP1 と NP2 の間の意味関係はどうなっているだろうか。油谷（2003：140-141）では、日本語の「の」に対する韓国語の「의」の省略される際の NP1 と NP2 の意味関係を述べているが、代表的なケースとして「空間的關係」（NP2 が位置名詞の場合）、「時間的關係」（時間名詞が連続する場合）、「従属關係」（NP1 と NP2 が包含關係である場合）が挙げられている。しかし、本研究のコーパス分析によれば、実際はこれらの種類以外

にも「所有關係」、「属性の關係」「全体と構成素の關係」、「主体と行為の關係」「対象と行為の關係」、「数量及び程度の關係」、「社会的及び親族的關係」の場合にも省略現象が起こっていた。これらの意味分類については、拙稿（2009）を参考されたい。

しかし、上記の表 6 のような NP1 と NP2 の意味関係の場合でも日本語の「の」が必ずしも韓国語で省略されて対応するわけではない。表 6 のような意味関係の場合も「の」が省略されずに韓国語の多様な表現と対応して現れる用例は多く見られる。言うまでもなく、本研究の日韓並列コーパスにおいて一対一で対応する 137 個の用例の中には、表 6 の意味関係がすべて現れていた。従って、表 6 のような意味関係の場合、省略の対応関係が見られるどうかは全く随意的である。ちなみに、NP1 と NP2 の間に「空間的な關係」がある場合は、省略されて対応する用例が 65 個に対して、そうでない用例が 16 個現れるという著しい差があった。このような頻度差が見られるとは考えられるが、これについては、今後の課題としたい。

表 5 日本語の「NP1 + の + NP2」構成の「の」が韓国語において省略される用例

NP1 と NP2 の 意味関係	用例
空間的關係 (65)	鏡合の前：화장대 앞, テーブルの すみに：테이블 구석으로, 自分の 傍：자기옆, 岸の方へ：해변 쪽으 로, ...
時間的關係 (14)	散歩の途中に：산책 도중에, 今季 のリーグ：올시즌 정규리그, ...
従属關係 (14)	地上波での放送は：공중파 방송 은, アメリカ流の発想：미국식 발 상, いちごの花：딸기 꽃, ...
所有關係 (15)	先生の宅を：선생님 집을, お友達 のお墓へ：친구분 묘에, ...
属性關係 (10)	タクワンの臭い：단무지 냄새, 筋 肉の疲労度：근육 피로도, ...
全体と構成素関 係 (15)	ホテルの裏口：호텔 뒷문, 先生自 身の口から：선생님 당신 입으로, ...
主体と行為の関 係 (2)	私の生活：내 생활 (2)
対象と行為の関 係 (1)	お部屋の掃除：방 청소
社会的・親族的 關係 (4)	お医者さんの奥さん：의사 부인 (2), 私の友達：내 친구, 自分の妻：내 아내
数量・程度 (5)	二人の間：두 사람 사이, 3つの 意味：세 가지 의미, 両方の脚： 두 다리, ...
その他 (20)	彼らのいずれもは：그들 중 어느 한 사람에게서도, 異文化の中：타 문화 속에서, その表情の中には： 그 표정 속에는, ...

4. おわりに

助詞は、韓国語と日本語において高頻度の品詞部類であることは無論、文法的にも非常に重要な役割を担っている。また、両言語の助詞は、類似しているところが多く見られるが、全ての側面において同様であるわけではない。そのため、韓日対照言語学の分野においては、助詞についての対照研究は非常に興味深いテーマであり、これまで多くの研究が行われて来た。

本研究では、韓国語の助詞「의」と日本語の助詞「の」の対応関係を調べるため、韓日及び日韓の両方向の並列コーパスからの用例を分析し、その実際の対応様相を帰納的に記述した。まず、韓日並列コーパスからの対応ペアの分析を行い、「韓国語→日本語」の方向からの「의」と「の」の対応様相を考察した。この場合は、韓国語の「의」は殆ど日本語の「の」に対応して現れた（91.3%）。一方、その反対の場合、つまり「日本語→韓国語」の方向からの「の」と「의」の対応様相は、相互一対一対応を見せる用例は全体 508 の中の 137（26.9%）に過ぎず、他の表現で現れるケースの方が 372（73.2%）で、むしろこちらの方が主流であった。このような分析結果からみると、「言語の理解」という面において日本語母語話者は、無理なく韓国語の「NP1 + 의 + NP2」の構成を理解することができるが、「言語の産出」という面においてはそう簡単ではないと考えられる。

相互に一対一で対応しないケースを類別してま

とめると、「韓国語→日本語」の方向の場合には、「NP1+用言の連体形 + NP2」、「NP1 + NP2の複合語化」「의 + NP2 或は NP1 + 의の省略」、「述語を用いた表現」、「ほかの助詞の使用」、「その他」の六つのタイプの異なる表現と対応していることが分かった。この中で最も多い用例は「NP1 + 用言の連体形 + NP2」であった。

一方、「日本語→韓国語」の方向の場合には、大別して「省略」と「対置」があるが、さらに前者は「의の省略」と「의 + NP2の省略」と区別できる。また、後者は、「冠形詞への対置」、「他の助詞への対置」（主格、目的格、副詞格）、「用言への対置」（連体形、叙述形）と細分することができる。この中で、最も多い用例は「省略」であった。

最後に、省略される用例における NP1 と NP2 の意味関係を調べてみたが、従来述べられていた「空間的關係」、「時間的關係」、「従属關係」以外にも、実際には「所有關係」、「属性の關係」、「全体と構成素の關係」、「主体と行為の關係」「対象と行為の關係」、「数量及び程度の關係」、「社会的及び親族的關係」が現れたが、これらの省略は全て随意的なものであった。

対照研究において常に問題になるのは、研究対象となる言語の片方への内省がないということである。これを克服するためには、一定規模の並列コーパスは必須不可欠である。現在韓国語と日本語の間に、一定規模以上の並列コーパスが構築・公開されているものはあまりない。そのため、コーパスを基盤とする韓日・日韓対象研究は、まだ進んでいないことも事実である。本研究も、個人研究用のコーパスを自ら構築するしかなかった。しかし、やはり個人で大規模かつバランスの良いコーパスを構築することは、非常に難しい。本研究の限界もそれが全てとは言えないが、ある程度それに起因するところもある。今後、より大規模かつバランスの良い韓日・日韓並列コーパスが構築・公開されれば、今まで内省や理論のみに頼って来た従来の研究成果を実証的に検証することができるだろう。本研究は、それに

先立つ研究として意義があると考ええる。

参考文献

- (1) 김선효, 한국어 학습자의 관형격 조사 ‘의’ 의 사용 실태에 관한 소고 - 일본어를 모어로 하는 중급 한국어 학습자의 경우, “한국어교육” 18-3, pp.53-73, 국제한국어교육학회 (2007)
- (2) 金泰虎, “韓国語教育の理論と実際”, 白帝社 (2006)
- (3) 민경모, “한국어 지시사 연구”, 연세대학교 대학원 박사학위논문 (2008)
- (4) 박복덕, 연체격조사와 관형격조사, “일어일문학연구” 9-1, pp.127-147, 한국일어일문학회 (1988)
- (5) 박종후, “한국어 조사 ‘의’ 의 의미 분류와 용법별 분포 양상”, 연세대학교 대학원 석사학위논문 (2009)
- (6) 서경숙, “韓・日兩國語「の」と「의」의 對照研究－連体修飾を中心にして”, 한국외국어대학교 교육대학원 석사학위논문 (1987)
- (7) 서상규・한영균, “국어정보학 입문”, 태학사 (1999)
- (8) 신은범, “「의」와「의」의 대조연구”, 건국대학교 대학원 석사학위논문 (1982)
- (9) 안경화・양명희 (2005) 「일본어권 한국어 학습자를 대상으로 한 조사 ‘의’ 의 교수 방안」 “이중언어학” 29, 이중언어학회, 195-223.
- (10) 양명희, 일본어권 고급학습자의 오류, “한국어의 미학” 15, pp. 329-352, 한국어의미학회 (2004)
- (11) 우인혜, 영일 학습자의 조사 교육을 위한 연구 “이중언어학” 22, pp.239-267, 이중언어학회 (2003)
- (12) 오현정, “일본어의 연체수식에 관한 연구”, 제이앤씨 (2005)
- (13) 정희정, “한국어 명사 연구”, 한국문화사 (2000)
- (14) 조철현 외, “한국어 학습자의 오류 유형 조사 연구”, 문화관광부 2002년도 국어정책공모과제 연구보고서 (2002)
- (15) 최정룡, 「의」と「의」의機能及び対応に関する考察－韓・日兩國の中学国語教科書を資料にして “論文集” 25, pp. 75-113, 신라대학교 (1988)
- (16) 허인순, 한국인 일본어 학습자의 번역에 나타난 격조사 ‘의’ 의 문제에 관하여, “일본어문학” 7, pp.137-167, 한국일본어학회 (1999)
- (17) 油谷幸利, “日韓對照言語學入門”, 白帝社 (2003)

【付録】

・韓日並列コーパスのテキスト目録

新聞	日付	区分	題名	語節数
동아일보	2009.7.4	經濟	한은도 금 매입에 나서나	325
		社会	쌍용차 노조, 50 억 물어내라 손배소	235
		社会	전교조 본부 첫 압수수색	107
	2009.7.6	國際	막강한 인력 - 재정력 기반 민관합동 총력외교 결실	387
		文化	책 읽는 아이가 경쟁력 있다	273
		社会	교사 촌지 신고하면 3000 만원 서울교육청 추진	205
	2009.7.7	스포츠	로저 페테러 마침내 신천지를 밟다.	231
		經濟	한국은 세계 10 위권의 경제대국인가.	238
		국제	해고 양심 허위 글이 960 명 유혈사태 발단	44
	2009.7.8	社会	경기도 님비 특별법 만든다	162
		經濟	손실 큰데 세금까지? 해외 투자자 한숨	341
		스포츠	코트의 샷별들 내일은 왕 별로 반짝	188
	2009.7.9	政治	방통위, 6 시간 지나서야 대국민경보	186
		政治	북, 이번엔 한미에 사이버 테러 도발까지 했나	271
		社会	님비 특별법	246
	2009.7.10	經濟	빚 잘 갚는 신불자에 신용 카드 허용 추진	125
		社会	학원 단속 헛바퀴	257
		스포츠	축구 선수의 꿈 대박과 쪽 박 사이	369
	2009.12.18	經濟	한미 통화스와프 내년 2 월 종료 정부 외화유동성 확보 문제 없다	224
		政治	폭력으로 소수결하겠다면 총선이왜 필요한가	278
		스포츠	우즈는 역시 뉴스메이커	153
	2009.12.19	政治	한명숙 전 총리 체포	255
		社会	두 살 아이 물에 빠졌다 트 위터 중계 엄마 논란	297
		經濟	경제 5 단계, 이견회 전회 장 71 명 사면 건의	259

新聞	日付	世宗ファイル名	語節数
中央日報	2001.6.1	ja0101kk/kj (政治面の中の一部)	58
		ja0102kk/kj (社会面の中の一部)	97
		ja0103kk/kj (経済面の中の一部)	149
		ja0104kk/kj (政治面の中の一部)	197
		ja0105kk/kj (政治面の中の一部)	560
		ja0106kk/kj (政治面の中の一部)	837
		ja0107kk/kj (政治面の中の一部)	218
		ja0108kk/kj (政治面の中の一部)	299
		ja0109kk/kj (社会面の中の一部)	572
		ja0110kk/kj (社会面の中の一部)	804
		ja0111kk/kj (社会面の中の一部)	83
		ja0112kk/kj (社会面の中の一部)	515
		ja0113kk/kj (社会面の中の一部)	113
		ja0114kk/kj (コラムの中の一部)	392
		ja0115kk/kj (コラムの中の一部)	259
		ja0116kk/kj (コラムの中の一部)	244
		ja0117kk/kj (コラムの中の一部)	279
		ja0118kk/kj (コラムの中の一部)	261
	計		

・日韓並列コーパスのテキスト目録

題名	筆者	区分	出版日	発行処	語節数
心	夏目漱石	小説	2002.12.06	문예출판사	1,851
満願	太宰治	小説	2008.04.01	다락원	474
女生徒	太宰治	小説	2008.04.01	다락원	1,446
大リーグ挑戦の喊声	木村浩一	コラム	2009.12.01	연합뉴스	716
プロ野球の地方時代は良いが	木村浩一	コラム	2009.12.08	연합뉴스	663
計					5,150